

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	狭隘な道路で切り返しを行った際、左前方フロントバンパーが花壇に接触しバンパーが破損した事故。
3. 体験した事例の中心的要素	傷病者を車内収容し病院へ搬送するため道路を南下しようとしたところ、前方から乗用車2台が北上してきた。対面通行不可能な道路だったので、隊長の誘導のもと救急車を私道に後進で退避した。その後、切り返しのため前進させた際に左前方の花壇（高さ約45cm）にフロントバンパが接触した。
4. 体験した事例の原因・理由	車両周囲の状況をしっかり確認せず行動してしてしまった。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 20 年 8 月 6 日 午後 7 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：狭隘な道路
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：接触事故
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期、 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	搬送中、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[39]歳、 勤続年数[15]年、 現場経験年数[15] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[46]歳、 勤続年数[24]年、 現場経験年数[24]年、 階級[消防司令]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [車長]
○当事者 C	年齢[30]歳、 勤続年数[7]年、 現場経験年数[7]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A が	後進するために誘導を B に依頼した。	
経過 2	B が	救急車の後方を確認し誘導した。	
経過 3	C は	傷病者の観察を実施していた。	
経過 4	A が	切り返しが必要と自ら判断し前進した際に 花壇に接触した。	
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。周囲の視界が確保できていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

運転時は呼称を確実にするようにした。

○装備・資機材の対策について

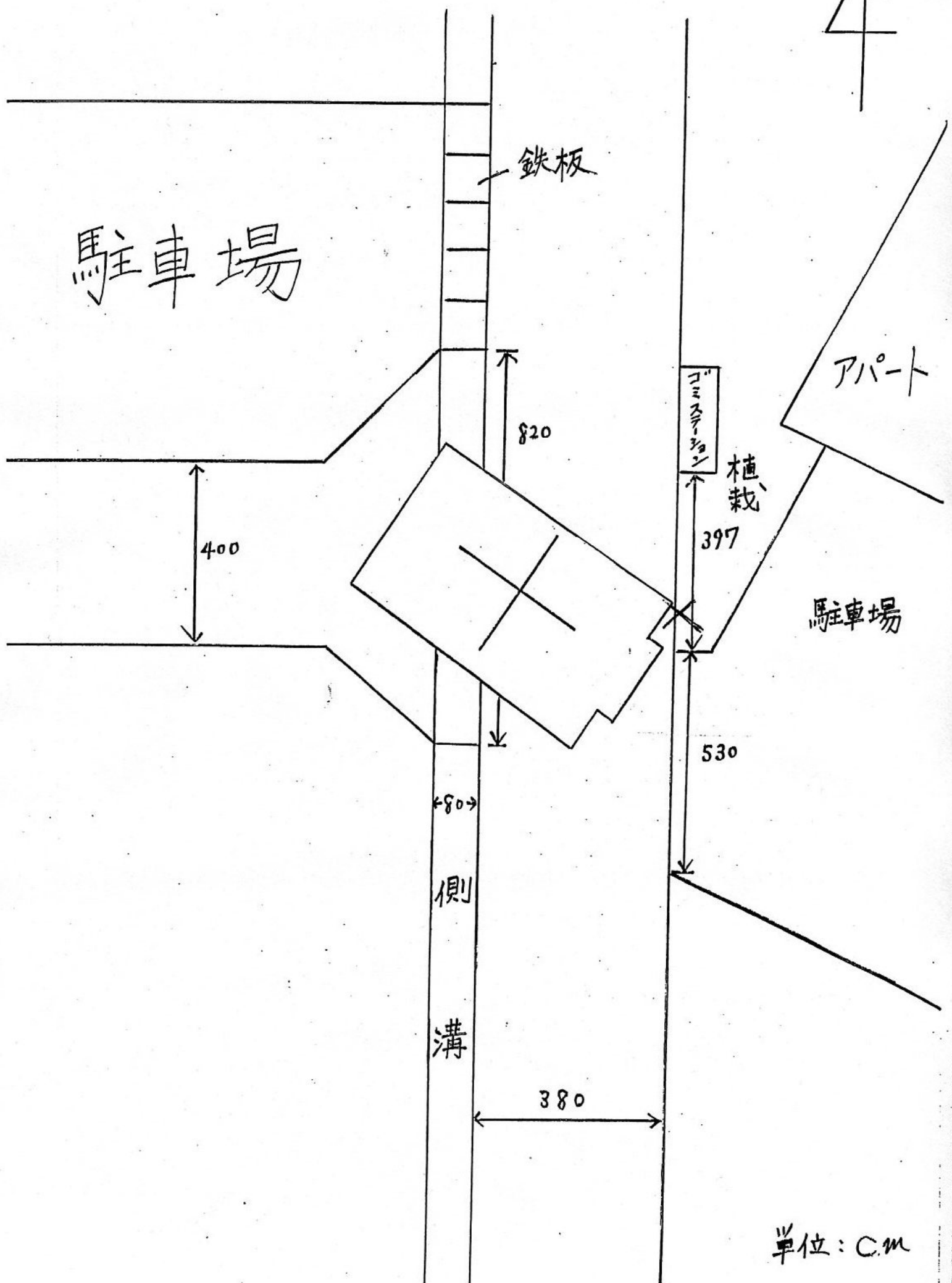
○活動環境の対策について

同様の状況や確認が必要と判断した際は、車両周囲の状況をしっかり確認してから運転するようにした。

○指揮・情報伝達の対策について

車両の転回、後進等させるときは、必ず車両の前方も確認しながら誘導してもらうようにした。

事故現場詳細図



単位: C.m